



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月8日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1236
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,310	0.1	△3	—	△3	—	△5	—
2018年3月期第1四半期	1,309	9.0	40	12.3	39	29.6	32	37.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △6百万円(—%) 2018年3月期第1四半期 43百万円(119.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△0.48	—
2018年3月期第1四半期	2.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	5,284	1,190	21.9
2018年3月期	5,144	1,220	23.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 1,154百万円 2018年3月期 1,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,600	1.2	40	△53.3	30	△63.2	20	△70.1	1.70
通期	5,400	5.0	115	8.5	100	△3.2	80	△4.0	6.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期1Q	12,317,000株	2018年3月期	12,317,000株
2019年3月期1Q	549,004株	2018年3月期	548,954株
2019年3月期1Q	11,768,013株	2018年3月期1Q	11,768,047株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善が見られる等、穏やかな景気回復が続いています。一方、米国政権に対する政策不安や中東等の地政学リスク等により、海外経済の不確実性が高まり、依然として国内景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、第1四半期における新設住宅着工戸数が、24.5万戸(前年同期比2.0%減)であり、利用関係区分で、持家・貸家が前年比マイナスの状況が続き、釘の需要環境が低調であることから、さらに価格競争が厳しさを増しています。一方、電気・輸送機器向ネジは、OA機器関連製品等で海外での現地調達、一部国内回帰し、また自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向のライセンス製品の需要は、引き続き堅調に推移しています。しかし、釘同様、価格競争が激しく、事業環境は依然厳しい状況が続いています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,310百万円(前年同四半期1,309百万円、0.1%増)、その内訳は建設・梱包向は8百万円増(0.8%増)、電気・輸送機器向は7百万円減(2.8%減)となりました。売上総利益は220百万円と前年同四半期に比べ34百万円(13.4%減)の減益となり、製造コストの低減努力をしたものの、鋼材価格や輸入商品価格等の高騰分を、十分に販売価格に転嫁できなかったことによるものであります。営業損益は、販売費及び一般管理費が運賃等の値上がりや営業活動費の増加により、前年同四半期に比べ9百万円の増加したこともあり、3百万円の損失(前年同四半期40百万円の利益)となりました。経常損益は、3百万円の損失(前年同四半期は39百万円の利益)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税、住民税及び事業税等を差し引いた結果、5百万円の損失(前年同四半期32百万円の利益)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造住宅の着工戸数が減少し、需要環境は厳しい状況が続いています。利益面は、鋼材価格、副資材価格等の高騰により、生産性の向上による製造コスト低減効果を吸収できず、また販売価格への転嫁は一部に留まったため減益となりました。この結果、当セグメント売上高は、1,033百万円(前年同四半期1,024百万円、0.8%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ42百万円減の39百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向等は海外での現地調達化が定着しましたが、内需ニーズとして、品質重視の傾向のなか、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向の付加価値の高いライセンス製品の需要は順調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、276百万円(前四半期比2.8%減)となり、セグメント利益は前年同四半期と同額の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

・資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,284百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比140百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ159百万円増加し、3,219百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が79百万円、商品及び製品が62百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ19百万円減少し、2,065百万円となりました。これは主に、有形・無形固定資産の設備投資25百万円に対して減価償却費が42百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ171百万円増加し、4,094百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ140百万円増加し、2,771百万円となりました。これは、短期借入金が60百万円、その他が未払賞与と役員未払賞与の計上により、61百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ30百万円増加し、1,322百万円となりました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は前年度末と比べ90百万円増加し、2,696百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ30百万円減少し、1,190百万円となりました。これは、当第1四半期連結会計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円に対して、剰余金配当が23百万円あり、その他有価証券評価差額金が、株式の株価の下落により、前年度末に比べ2百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の23.1%から21.9%となり、1株当たり純資産は100.84円から98.13円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね予想通りでありますので、2018年5月10日に発表いたしました2019年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては修正していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,045	606,895
受取手形及び売掛金	1,285,599	1,365,259
電子記録債権	119,309	126,515
商品及び製品	634,812	697,561
仕掛品	200,267	214,823
原材料及び貯蔵品	222,490	196,820
前払費用	12,890	14,267
その他	1,489	876
貸倒引当金	△3,651	△3,888
流動資産合計	3,059,253	3,219,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	455,193	447,308
機械装置及び運搬具（純額）	576,762	574,734
土地	733,542	733,542
その他（純額）	33,837	32,077
有形固定資産合計	1,799,336	1,787,662
無形固定資産		
ソフトウェア	70,863	65,627
その他	0	0
無形固定資産合計	70,863	65,627
投資その他の資産		
投資有価証券	110,366	106,545
長期前払費用	2,850	2,378
繰延税金資産	9,835	11,006
その他	103,700	104,390
貸倒引当金	△12,036	△12,021
投資その他の資産合計	214,717	212,300
固定資産合計	2,084,916	2,065,590
資産合計	5,144,170	5,284,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	749,561	777,630
電子記録債務	104,854	113,165
短期借入金	1,549,418	1,610,192
未払法人税等	5,955	3,093
未払消費税等	11,399	16,334
未払費用	53,309	56,346
賞与引当金	36,238	21,897
役員賞与引当金	9,180	—
その他	111,340	173,289
流動負債合計	2,631,257	2,771,948
固定負債		
長期借入金	1,056,540	1,086,470
繰延税金負債	6,913	6,683
役員退職慰労引当金	37,085	36,313
退職給付に係る負債	188,311	189,766
資産除去債務	3,498	3,503
固定負債合計	1,292,349	1,322,736
負債合計	3,923,606	4,094,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	558,394	529,155
自己株式	△49,061	△49,068
株主資本合計	1,164,731	1,135,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,912	19,260
その他の包括利益累計額合計	21,912	19,260
非支配株主持分	33,919	35,291
純資産合計	1,220,563	1,190,036
負債純資産合計	5,144,170	5,284,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	1,309,587	1,310,343
売上原価	1,054,921	1,089,792
売上総利益	254,665	220,551
販売費及び一般管理費	213,893	223,820
営業利益又は営業損失(△)	40,772	△3,269
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	894	2,459
保険解約返戻金	2,661	—
その他	2,106	1,772
営業外収益合計	5,668	4,234
営業外費用		
支払利息	4,890	4,159
その他	1,747	685
営業外費用合計	6,638	4,844
経常利益又は経常損失(△)	39,802	△3,879
特別損失		
固定資産除却損	240	8
特別損失合計	240	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39,562	△3,887
法人税、住民税及び事業税	5,645	768
法人税等調整額	△65	△324
法人税等合計	5,579	443
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,982	△4,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,554	1,371
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	32,427	△5,703

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	33,982	△4,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,532	△2,652
その他の包括利益合計	9,532	△2,652
四半期包括利益	43,515	△6,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,960	△8,355
非支配株主に係る四半期包括利益	1,554	1,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,024,876	284,711	1,309,587	—	1,309,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	5,738	5,817	△5,817	—
計	1,024,956	290,449	1,315,405	△5,817	1,309,587
セグメント利益	82,138	11,473	93,612	△52,840	40,772

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	93,612
セグメント間取引消去	△29
全社費用(注)	△52,810
四半期連結損益計算書の営業利益	40,772

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,033,585	276,758	1,310,343	—	1,310,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	6,933	7,095	△7,095	—
計	1,033,747	283,691	1,317,438	△7,095	1,310,343
セグメント利益又は損失(△)	39,390	11,677	51,067	△54,337	△3,269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	51,067
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△54,334
四半期連結損益計算書の営業損失	△3,269

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	922,908	+4.1
電気・輸送機器向	228,421	△5.9
合計	1,151,330	+1.9

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,069,097	+3.5	351,355	△4.1
電気・輸送機器向	280,991	+10.7	127,855	+14.8
合計	1,350,088	+4.9	479,210	+0.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,033,585	+0.8
電気・輸送機器向	276,758	△2.8
合計	1,310,343	0.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	294,628	22.5	261,162	19.9

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。